

館外施設のご紹介



北海道遺産・標茶町指定文化財 「北海道集治監釧路分監 本館」

明治19年、集治監の事務所として現在の北海道標茶高等学校の敷地内に設置。集治監廃止後も様々な施設の事務所として使われました。昭和44年に現在の位置に移築し、翌年から平成29年まで標茶町郷土館として使用。

平成30年に北海道遺産となり、翌31年には復元改修工事を行っています。



標茶町指定文化財 「旧塘路駅通所」

駅通所とは半官半民の宿で、北海道独特の制度です。旧塘路駅通所は明治23年に設置され、鉄道(釧網線)の開通とともに昭和3年廃止となりました。建物は漁業番屋として明治18年に建築され、特徴的な丸太組の構造をしています。令和4年に内部復元を含めた改修工事を行っています。

利用のご案内

■開館時間: 9時30分～16時30分

■休館日: 毎週月曜日

(祝日が月曜日の場合、翌日休館)

年末年始(12月29日～1月3日)

※7月1日～8月31日まで休館日はありません。

■観覧料: ◎個人 / 220円

(税込)

◎団体(20人以上) / 160円

※高校生以下と70歳以上の方
及び障がいのある方と付添1名は無料

交通案内

■JRご利用

釧網本線 塘路駅より徒歩約15分

■車ご利用

◎釧路駅より約35分

◎道東自動車道阿寒ICより約60分

◎たんちょう釧路空港より約50分



標茶町博物館 ニタイト

〒088-2261

北海道川上郡標茶町字塘路原野北8線58番地9

TEL.015-487-2332 FAX.015-487-2364

Email: nitai-to@sip.or.jp

<http://www.sip.or.jp/~shibeche-museum/>



ホームページ



Instagram

標茶町博物館

アイヌ語で「ニタイ」は「森」
「ト」は「湖」という意味です。

ニタイト Shibeche Museum

森の緑と美しい塘路湖、
野鳥や動植物を身近に感じられ
標茶町の自然と歴史を学べる博物館です。



館内 展示室の ご紹介



360度
パノラマ体験
映像展示

多目的室
大型モニター

VRゴーグル
(対象年齢/小学5年生以上)

受付

展示室

事務室

1F

2 標茶のアイヌ文化
Ainu Culture
in Shibecha

3 標茶の近代
Recent History of
Shibecha

ジオラマ

6 屋内バードウォッチング
Indoor Bird Watching

1 大昔の標茶
Ancient History of
Shibecha

4 飯島コレクション
(昆虫)
Iijima Collection
(Insects)

5 標茶の自然
Shibecha's Nature

2F



2



標茶のアイヌ文化

標茶町では江戸後期より北海道の先住民
アイヌのコタン(集落)があったことが知
られています。標茶のアイヌ文化は祭事を
中心に、古くより研究されていました。

3



標茶の近代

標茶市街は、明治政府による釧路集治監設
置により、大きく発展しました。一方で各地域
での入植も大きな苦労の中進んでいきます。
畑作から酪農への歩みを辿る事ができます。

4

飯島

コレクション

5

標茶の自然



標茶町を中心に北海道東部の昆虫相解明
のために生涯をかけて研究に取り組んだ飯
島一雄氏。その研究成果と、膨大な昆虫標本
「飯島コレクション」をご紹介します。



国立公園を二つ抱える広大で自然豊かな
標茶町。多様な環境の中、様々な生き物や植
物などを見ることができます。

6



屋内バードウォッチングコーナー

ラウンジの上に設置された鳥類を中心としたジオラマです。
春夏・秋冬で展示が変わります。



1 大昔の標茶

北海道東部に位置する標茶町では、在地
文化の他にも、石刃鍬文化やオホーツク文
化との繋がりがああるトビニタイ期など、北
方文化に起因した遺跡が見られます。